

取扱説明書

バキュームホースリール

HVR38-10 ITEM No.V810881

HVR38 ITEM No.V810781



警告

安全のため、本製品のご使用前には必ずこの取扱説明書を熟読し、記載されている重要警告事項をよく理解してください。
また、本取扱説明書をいつでも使用できるよう大切に保管してください。

- はじめに


このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本書は、本製品を安全に正しくかつ効率的にお使いいただくための重要な事項を記載しています。本製品をお使いになる前に本書を熟読し、特に本書の冒頭の「警告・注意事項」の項をよくお読みになり、ご理解された上でお使いください。なお、本書は本製品をお使いいただく際にいつでも参照できるよう、大切に保管してください。


- 使用目的

本機は、清掃時や様々な作業で発生する塵埃を、別売の集塵装置やダクトなどと併用し吸引するための装置です。なお、車両の排気ガスや60℃を越える溶接ヒューム、水分や油分を多く含んだ粉塵などには使用できません。


- 警告・注意事項


本製品を安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。
本書では、警告・注意事項を絵によって表示しています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき操作を行う方や周囲にいる方々に加えられる恐れのある人身事故や、周囲にある物品への損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解いただくようによくお読みください。

 **警告：** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡する可能性、または重傷を負う可能性があることを示しています。

 **注意：** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害が発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容を示すために、上記の表示とともに以下の絵表示を使用しています。

 この表示は、してはいけない行為（禁止事項）であることをあらわしています。表示の脇には具体的な禁止内容が示されています。

 この表示は、必ずしたがっていただく内容であることをあらわしています。表示の脇には具体的な指示内容が示されています。

- 使用上の注意

下記の警告・注意事項は大変重要ですので、必ず守ってください。

警告



- ・ 車両の排気ガスなどを吸引しないでください。ホースの耐熱温度を上回り、火災やホースの劣化など故障の原因になるとともに、室内に排気ガスが充満し作業者の健康に影響を及ぼす恐れがあります。
- ・ アルミニウム粉、小麦粉や砂糖などの粉塵爆発を起こし易い物質の吸引には使用しないでください。配管や各機器類のアースの施工が不十分な場合、粉塵爆発を起こす可能性があります。



- ・ 配管や各機器は、必ずアースを取ってください。アース施工が不十分な場合、粉塵爆発などの危険性が増加します。

注意



- ・ 本機の改造は絶対にしないでください。改造すると人身事故や故障を生じる恐れがあります。
- ・ 水分や油分を多量に含んだ粉塵の吸引はお止めください。湿った粉塵がホース内壁や配管内壁に付着し、配管の詰まる原因となります。また、集塵装置のフィルターも詰まり、フィルターの寿命が著しく短くなるか、最悪の場合集塵装置が故障する可能性があります。

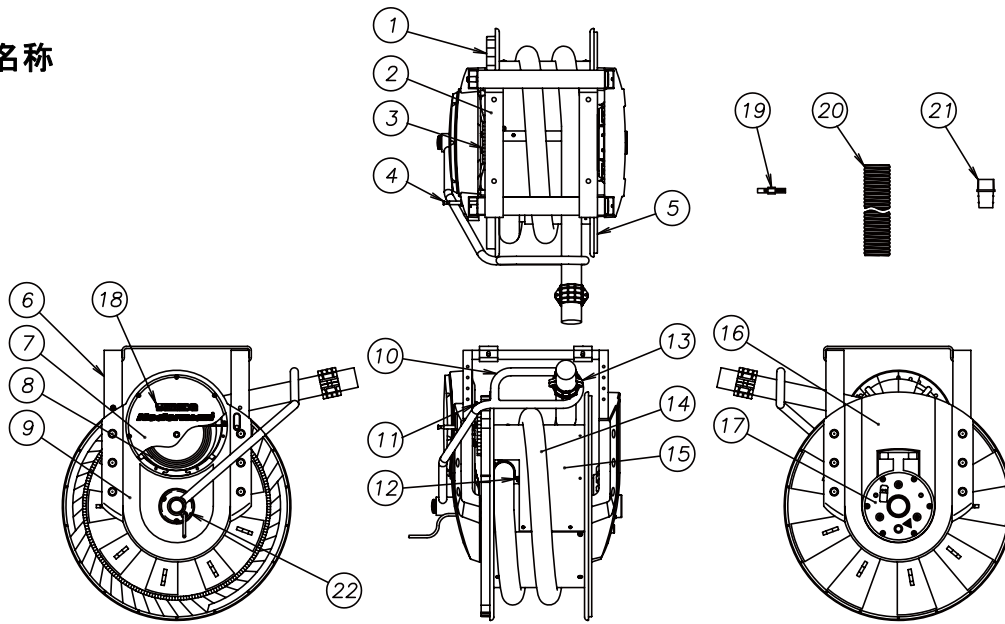


- ・ バキュームホースを下降させる場合には、不注意な事故が起きないように、本機の真下に人や車両がないことを確認してください。

目次

- はじめに	
- 使用目的	
- 警告・注意事項	
- 使用上の注意	
- 目次	
1. 各部の名称	1
2. 設置	
2.1 リール本体の設置	1
2.2 ホースと配管の接続	2
2.3 信号線の接続	2
2.4 ホースの接続(ホースレス仕様の場合)	2
3. 使用前の準備	
3.1 各部調整	3
3.2 確認事項	4
4. 使用方法	5
5. 保守・点検	
5.1 故障の点検とその対策	7
5.2 保守・点検	7
6. 仕様	8
7. 主要寸法	8
8. 分解図・パーツリスト	9
9. 製品保証登録シート	10
10. 保証規定	11

1. 各部の名称



番号	名称	番号	名称	番号	名称
1	ギヤサイドプレート	9	ギヤサイドカバー	17	メカニカルダンパー
2	取付金具	10	ストップバー	18	ラベル
3	スプリングハブ	11	ラチェットユニット	19	ホースバンド3"
4	セーフティロック	12	ホースガイド	20	φ63ホース(1m)
5	スイベルサイドプレート	13	ホースストッパー	21	ホースカプラー
6	フレーム	14	φ38ホース(10m)	22	マイクロスイッチ(コード2m付)
7	スプリングカバー	15	ドラムホイール		
8	スプリング	16	スイベルサイドカバー		

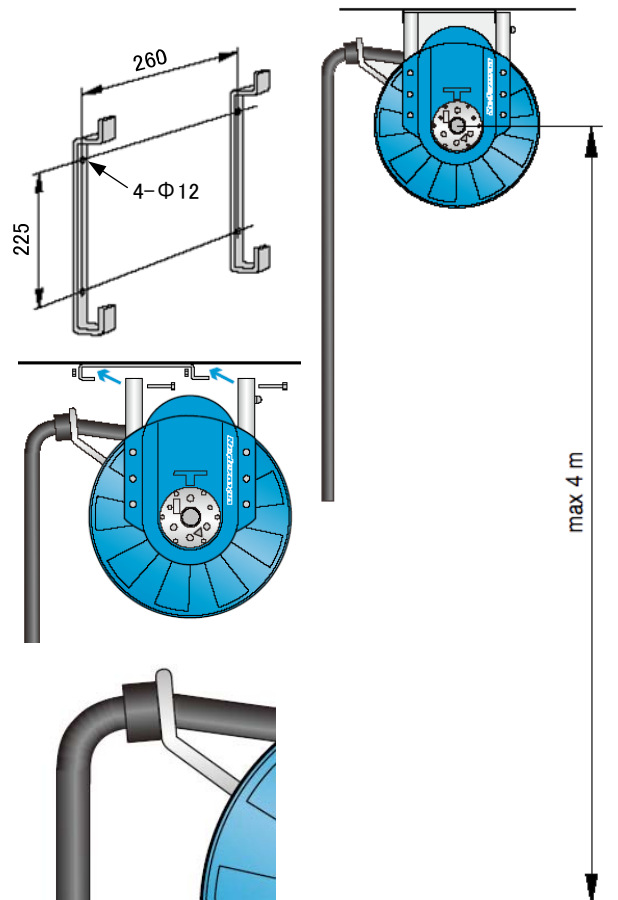
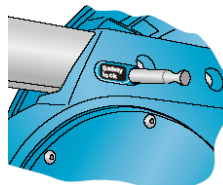
2. 設置

2.1 リール本体の設置

バキュームホースリールユニットは、天井または壁面に取付けることができます。

また、床面からの取付け高さは、作業エリア及びバキュームホースの引出し長さを考慮して決定してください。但し、接続口の高さが4mを超えない範囲での設置をお願いします。

- 1) アンカーボルトなどでリールブラケットを天井や壁面に固定してください。(取付寸法 225×260 で M10 以上のアンカーボルトで固定してください)
- 2) 固定したリールブラケットにバキュームリールをはめ込み、付属のボルト及びナットで固定します。
- 3) セーフティロックを解除し、ホースが引出せるか確認してください。
- 4) ホースをストップバー先端の輪の中を通し、ホースストッパーをホースに取付けます。



⚠ 警告



- 高所での作業を行う場合、転落などの事故が起きないように十分注意し、安全帯を着用するなどの措置をとってください。また、万一の場合に備え、作業する周辺にはむやみに物を置かないでください。
- 装置を天井などに取付ける場合は、装置を十分に支えられるような固定法を用いてください。固定が不十分であると、装置が落下する可能性があり大変危険です。

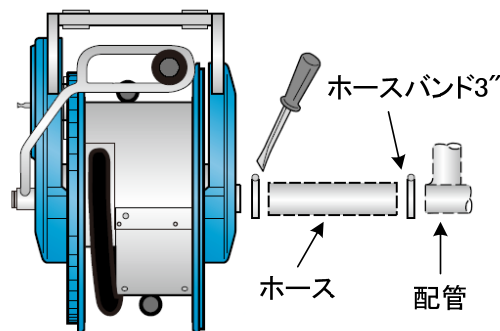
⚠ 注意



- 装置は水平になるように設置してください。装置の故障の原因となります。

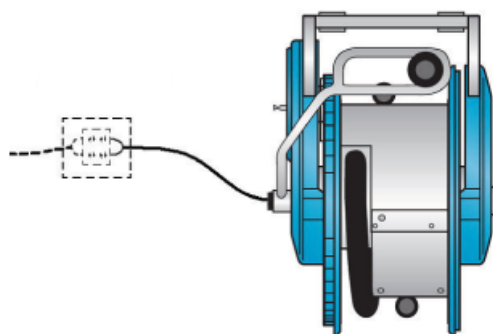
2.2 ホースと配管の接続

付属のφ63 ホースを用いて、配管とリールを接続してください。同じく付属のホースバンド3”で確実に締付け、漏れが無いようにしてください。ホースの両端面は、ホース外側の銅線を剥いて、アースを取るようにしてください。



2.3 信号線の接続(集塵装置との連動)

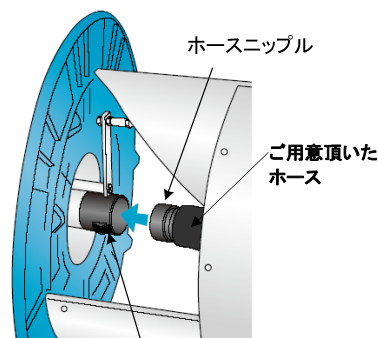
本機には、バキュームホースを引いた際に集塵装置(バキュームユニット)を起動させる接点信号を出すためのマイクロスイッチが内蔵されています。ストップバーの中心から出ているマイクロスイッチのコードと集塵装置起動用信号線を接続してください。接点容量は、AC48V・2A です。



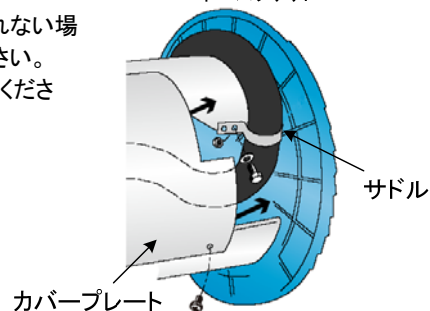
2.4 ホースの接続(ホースレス仕様の場合)

ホースレス仕様(V810781)をご使用になる場合、お客様にてご用意頂いたホースをリール本体に取付ける作業が必要となります。

- 1) セーフティーロックを押し込んでドラムが回転しないように固定し、ドラムのカバープレートを取外してください。
- 2) 内部のホースソケットに接続されているホースニップルを赤いフックを押しながら引抜いて取外し、ご用意頂いたホースをホースニップルに接続してください。
- 3) ホースを接続したホースニップルをホースソケットに接続してください。
- 4) ホースをドラム上のサドルで固定してください。
- 5) カバープレートをドラムに取付けてください。
- 6) セーフティーロックを解除し、ホースを巻き取ってください。スプリングの力で巻き取れない場合は、ギアサイドプレートやスィベルサイドプレートなどを手で回して巻き取ってください。
- 7) ホースの先端をストップバー先端の輪に通し、ホースストッパーをホースに取付けてください。



ホースソケット



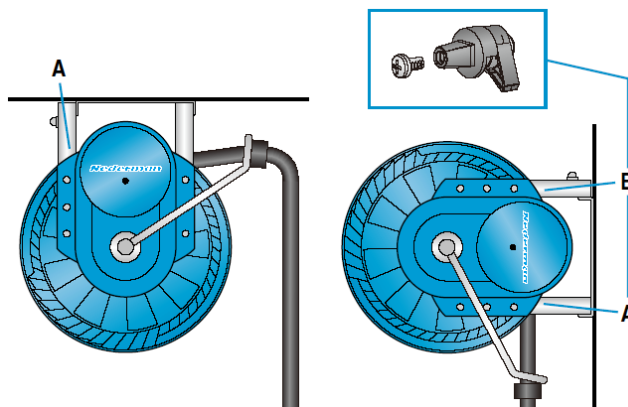
3. 使用前の準備

本機にはノズル、及び粉塵を吸引する集塵装置(バキュームユニット)は含まれておりません。別途ご購入ください。

3.1 各部調整

■ラチェットの調整

バキュームホースリールを壁面に取付けた場合、工場出荷時のラチェット取付位置 A で使用できます。天井に取付けを行った場合、位置の変更(A → B)が必要となりますので調整を行ってください。



⚠ 注意



- 調整を行う時は、必ずセーフティーロックを押し込んで、ドラムが回転しないように確実にロックされていることを確認してください。

■バキュームホースの調整

バキュームホースを下記の手順で調整してください。

- 1) バキュームホースを床面から適当な高さで止まるところまで、引張ってください。
- 2) ギヤサイドカバーにあるセーフティーロックを押し、ドラムを固定してください。
- 3) ホースストッパーでバキュームホースの長さを調整し、固定してください。
- 4) セーフティーロックを解除してください。



⚠ 注意

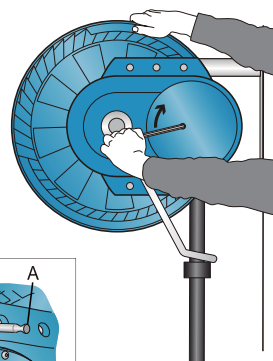


- 調整を行う時は、ホースの取扱いには十分に注意してください。ホースの保持が不十分であると、スプリングの力で急激に巻き取られ、ホースやホースストッパーなどが周辺の機材や照明、作業者などに当り、損傷やケガの原因となります。

■スプリングの調整

ホースを全て引出し、ゆっくりと巻取ります。この時、巻取りの最中にテンションが弱くなるようであれば、テンションを強めに設定する必要があります。

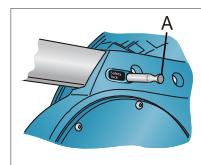
- 1) テンションの調整方法はまず、ギヤサイドカバーにあるセーフティーロックを押し、ドラムを固定してください。
- 2) 次に、スプリングカバーの中心にあるトルクコントローラーの六角形の穴に、バキュームホースリール付属の六角レンチを接続して時計回りに回します。
- 3) 逆にテンションが強すぎる場合は、ホースストッパーを取外し、ホースを数周巻戻してください。



⚠ 注意



- 調整を行う時は、必ずセーフティーロックを押し込んで、ドラムが回転しないように確実にロックされていることを確認してください。



3.2 確認事項

- 1) 本機を天井または壁面に固定しているボルト及びナット、本体を固定するボルト及びナットに緩みがないか確認してください。
- 2) バキュームホースを下に引き、バキュームホースが引出せることを確認してください。バキュームホースを下ろす際にカチカチとラッチ音が鳴るところで手を緩め、その位置でラッチ装置のロックが掛かることを確認してください。

注意



- バキュームホースを下げる場合には、事故が起きないように、本機の真下に人や車両がないことを確認してください。
- バキュームホースを無理に引張らないでください。バキュームホース及び機器の破損の原因になります。

- 3) バキュームホースを少し引出し、ロックを解除して、バキュームホースが最後までドラムに巻取れることを確認してください。

注意



- バキュームホースを上昇させる際は、バキュームホースを保持しながら行ってください。ホースが空中で揺れて周辺の機材などに損傷を与える原因になります。

- 4) ホースストッパーがストッパーに引掛かり、巻取りが止まることを確認してください。

4. 使用方法

- 1) バキュームホースを確実に保持し、必要な長さまでバキュームホースを下ろしてください。この時、カチカチと鳴っているところで手を離すと、その位置でラッチ装置のロックが掛かります。

注意



- バキュームホースを下ろす際は、バキュームホースを確実に保持しながら行ってください。テンションがかかっている状態でバキュームホースから手を放すと、バキュームホースが急激に巻き取られて近くにある物に損傷を与えたり、ケガ等を負う原因になります。

- 2) 別売の集塵装置(バキュームユニット)を起動してください。吸引可能な粉塵や液体は、お使いになる集塵装置の取扱説明書などでご確認ください。

警告



- アルミニウム粉やチタン粉、コーンスターチ、小麦粉、砂糖などの粉塵爆発を起こし易いものの吸引はお止めください。これらの粉末は、ちょっとした火花でも粉塵爆発を起こします。但し、適切なアース施工及び爆発性粉塵用の集塵機などを使用し、危険性が回避できる場合、この限りではありません。

注意



- 水分や油分を多量に含んだ粉塵を吸引することはお止めください。バキュームホースや配管の内壁に付着し、ホースや配管が詰まる原因となります。

- 3) 吸引作業を開始してください。作業の内容に応じてバキュームホース先端にノズルを取付けてください。尚、バキュームホースの耐熱温度は下記の表の通りです。溶接ヒュームなどの吸引を行う際は、耐熱温度を越えないように注意してください。

・バキュームホースの耐熱温度

ホースの種類	最高使用温度
C-38 ホース	60℃
φ63 ホース	50℃

注意



- 耐熱温度を越えての使用はお止めください。バキュームホースの寿命を著しく短くします。
- 車両排気ガスなどの吸引には使用しないでください。バキュームホースの寿命を著しく短くします。

- 4) 作業が終了したら、集塵装置(バキュームユニット)を停止し、バキュームホース先端のノズルを取外してください。

<Note>

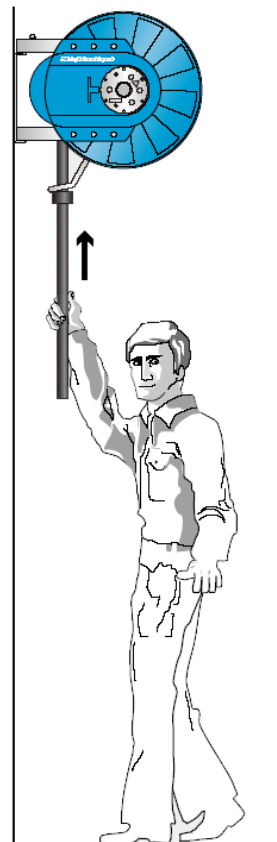
作業終了後、5～10 秒程度そのまま何も吸わない状態で放置してから停止すると、集塵装置が停止した後、ホース内部から粉塵が出てくることを防ぐことができます。

5) バキュームホースを少し引出し、ロックを解除してバキュームホースを巻取らせてください。

注意



– バキュームホースを上昇させる際は、必ずバキュームホースを保持しながら行ってください。バキュームホースが空中で揺れて周辺の機材などに損傷を与える原因になります。



<Note>

バキュームホースを最大に引出した状態で使用し、ロックが外れなくなった場合、下記の手順でロックを解除してください。

- a) ドラムのギヤサイドプレートのグリップを掴み、少しずつバキュームホースを出す方向へ回してください。
- b) ロックが解除されるまで、回してください。
- c) 解除されましたら、ギヤサイドプレートとバキュームホースを持ち、ゆっくり巻取らせてください。



5. 保守・点検

5.1 故障の点検とその対策

状 況	原 因	点検内容・対策
バキュームホースがきれいに巻取れない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乱巻きまたは二重巻きになっている。 ・ スプリングの巻取りトルクが弱い。 ・ ロックが掛かっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一度、バキュームホースを完全に引出し、手を添えて巻取る。 ・ スプリングの調整を行ってください。(P.3) ・ バキュームホースを少し引き、ロックを解除する。
バキュームガスの吸込みが悪い。または、吸わない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ ノズルに大きなゴミやウエスなどが付いている。 ・ バキュームホースが切れている。 ・ 配管が外れている。 ・ 集塵装置の電源が入っていない。 ・ メカニカルダンパーが閉じている 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゴミなどを取除く。 ・ バキュームホースを交換する。 ・ 修理を依頼してください。※ ・ 集塵装置の電源を入れる。 ・ バキュームホースを最後まで引き出し、ダンパーが開いているか確認する。開いていない場合、修理を依頼してください。※
バキュームホースが届かない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホースストッパーの位置が適切でない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホースストッパーの位置を適切な位置に調整する。

※お買い上げの販売店、または裏面記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

5.2 保守・点検

■点検

- ・バキュームホースに切れや劣化がないか、目視または触診にて確認してください。切れや劣化を発見した場合、速やかにお買い上げの販売店、または裏面記載のお問い合わせ先へご連絡ください。
- ・本機から異音が生じていないか確認してください。

■消耗品の交換

消耗品の内、下記の消耗品に異常が発見された場合、速やかにお買い上げの販売店、または裏面記載のお問い合わせ先へ連絡し、新品と交換してください。

- ・バキュームホースに切れや劣化が見つかった場合

注意



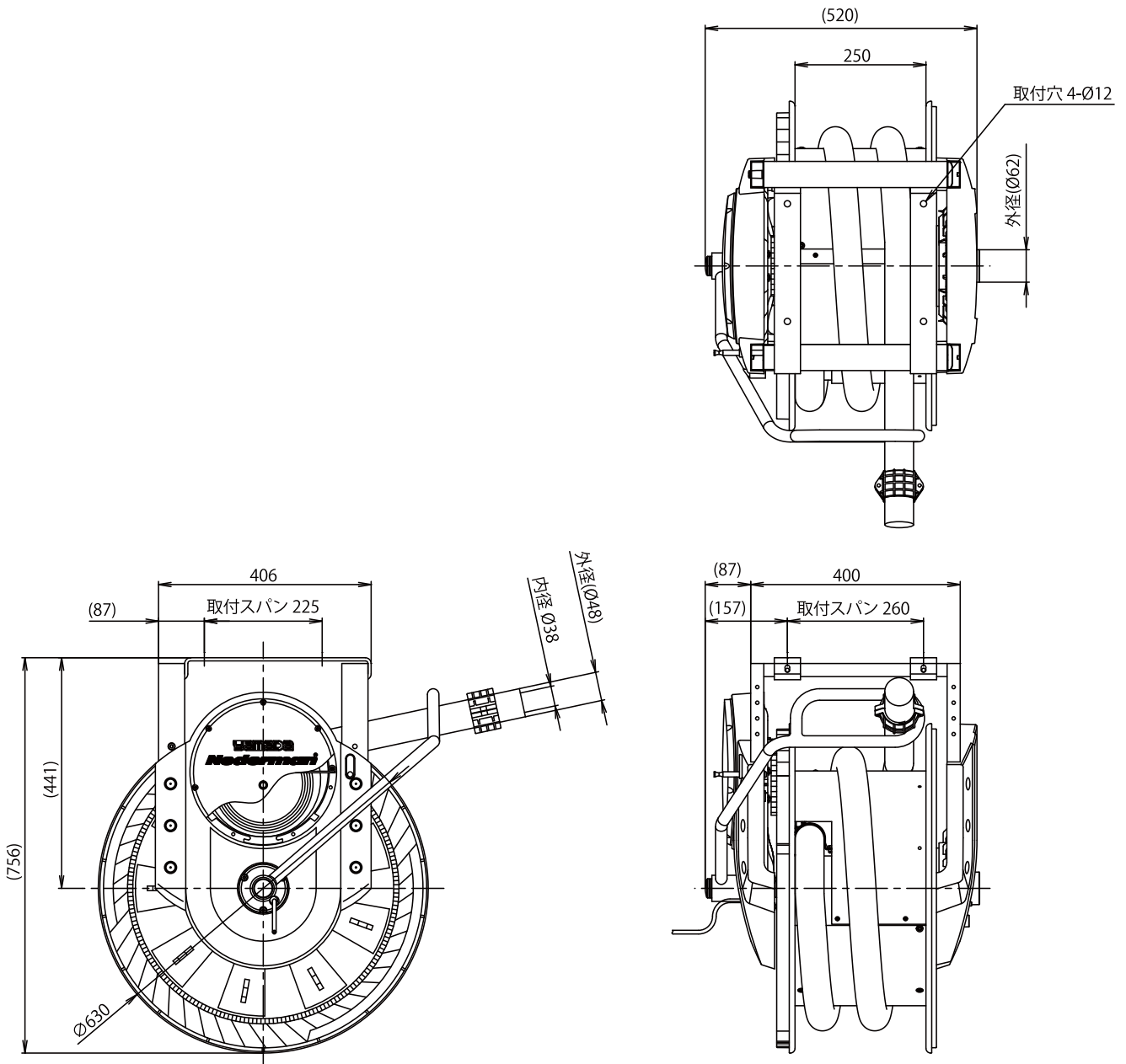
- 消耗品に不備が見つかった場合には、速やかに交換を行ってください。システムが有効に作動せず思わぬ事故を招く恐れがあります。
- 消耗品の交換は、高所での作業を伴うことがあります。安全規則を遵守の上、落下などには十分に注意して行ってください。

6. 仕様

■バキュームホースリール

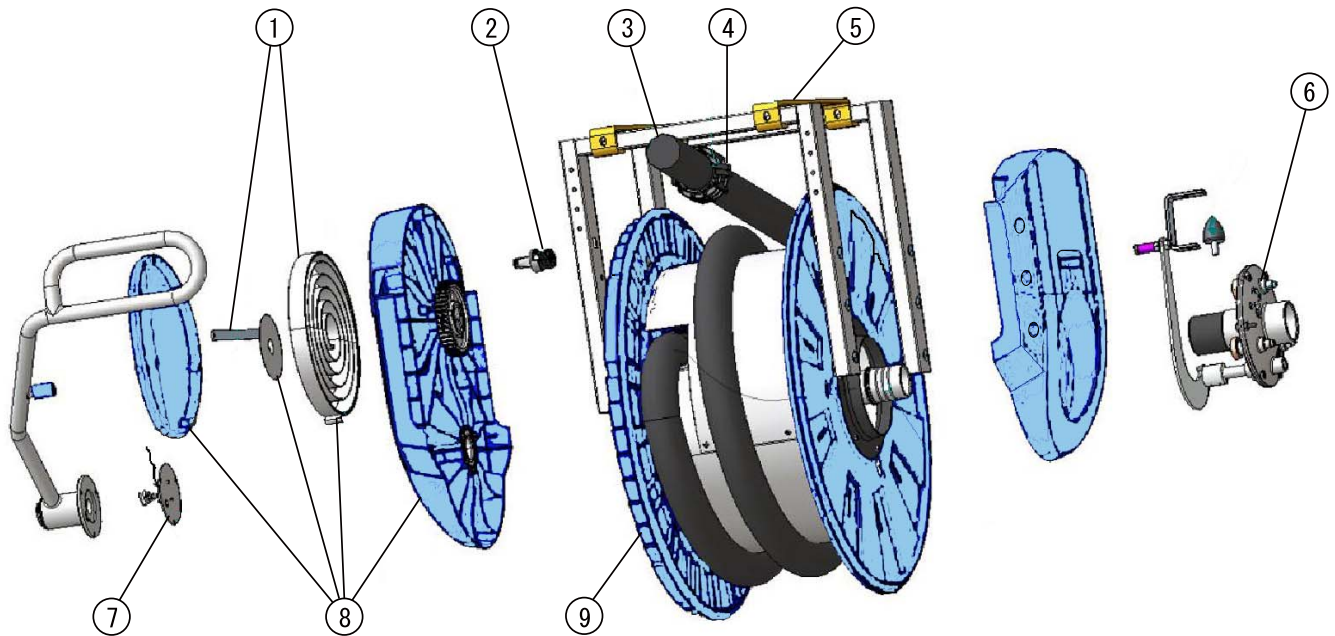
製品番号	製品名称	ホース	ダクト接続ホース	質量(kg)
V810781	ハイバキュームホースリール	なし	φ63 ホース 1m	22.5
V810881		C-38 ホース 10m		27

7. 主要寸法



8. 分解図・パーツリスト

■部品分解図



■パーツリスト

番号	部品名称	バキュームホースリール	
		V810781(ホース無)	V810881(ホース付)
1	スプリング	V374162	
2	ラチェットユニット	H373601	
3	C-38 ホース(10m)	—	V160322
4	ホースストッパー	V346586	
5	取付金具	H373600	
6	メカニカルダンパー	V375366	
7	マイクロスイッチ	H373557	
8	スプリングアッセンブリー	V374171	
9	ギヤサイドプレート	H373583	
付属品	φ63ホース (1.各部名称参照)	V130901	
付属品	ホースバンド3" (1.各部名称参照)	H341180	

9. 製品保証登録シート

・お手数ですが、弊社 HP <https://www.yamadacorp.co.jp> からご登録または下記のシートをコピーして必要事項をご記入の上、下記弊社宛てにご送信ください。（フリガナ指定の項目は、必ずご記入ください。）

製品保証登録シート																														
フリガナ 貴社名 _____	フリガナ ご担当者名 _____																													
郵便番号 _____	ご所属 _____																													
フリガナ ご住所 _____ _____	ご連絡先 T e l . () _____ - _____ F a x . () _____ - _____ Eメールアドレス _____																													
<p>■ 貴社の業種を下記より選んで○で囲んでください。</p> <table border="0"> <tr> <td>1. ガソリンスタンド</td> <td>2. 自動車整備業</td> <td>3. 自動車部品製造</td> </tr> <tr> <td>4. 車両・造船業</td> <td>5. 製鉄業</td> <td>6. 機械加工業</td> </tr> <tr> <td>7. 機械製造業</td> <td>8. 電気機械器具製造</td> <td>9. 半導体製造業</td> </tr> <tr> <td>10. 化学・プラント</td> <td>11. 建築・土木</td> <td>12. 塗料・インキ製造業</td> </tr> <tr> <td>13. 薬品・樹脂</td> <td>14. 食品製造業</td> <td>15. 塗装業</td> </tr> <tr> <td>16. 鉄道・バス・運輸業</td> <td>17. 窯業・陶器製造</td> <td>18. 印刷産業</td> </tr> <tr> <td>19. 鋳造業</td> <td>20. 石油産業</td> <td>21. 電気部品製造</td> </tr> <tr> <td>22. 軽金属・非鉄</td> <td>23. 織物・家具</td> <td>24. パルプ</td> </tr> <tr> <td colspan="3">25. その他（詳しくご記入ください。 _____ ）</td> </tr> </table>				1. ガソリンスタンド	2. 自動車整備業	3. 自動車部品製造	4. 車両・造船業	5. 製鉄業	6. 機械加工業	7. 機械製造業	8. 電気機械器具製造	9. 半導体製造業	10. 化学・プラント	11. 建築・土木	12. 塗料・インキ製造業	13. 薬品・樹脂	14. 食品製造業	15. 塗装業	16. 鉄道・バス・運輸業	17. 窯業・陶器製造	18. 印刷産業	19. 鋳造業	20. 石油産業	21. 電気部品製造	22. 軽金属・非鉄	23. 織物・家具	24. パルプ	25. その他（詳しくご記入ください。 _____ ）		
1. ガソリンスタンド	2. 自動車整備業	3. 自動車部品製造																												
4. 車両・造船業	5. 製鉄業	6. 機械加工業																												
7. 機械製造業	8. 電気機械器具製造	9. 半導体製造業																												
10. 化学・プラント	11. 建築・土木	12. 塗料・インキ製造業																												
13. 薬品・樹脂	14. 食品製造業	15. 塗装業																												
16. 鉄道・バス・運輸業	17. 窯業・陶器製造	18. 印刷産業																												
19. 鋳造業	20. 石油産業	21. 電気部品製造																												
22. 軽金属・非鉄	23. 織物・家具	24. パルプ																												
25. その他（詳しくご記入ください。 _____ ）																														
ご購入年月日	_____ 年 _____ 月 _____ 日	主なご用途																												
ご購入販売店		製品名（型式）																												
		製品番号																												
		SERIAL No.																												

※個人情報とは当社の個人情報保護方針に基づき適切な安全対策のもと管理し、お客様の同意なく第三者へ開示、提供いたしません。

宛先
株式会社 ヤマダコーポレーション
営業本部
TEL. 03-3777-4101
FAX. 03-3777-3328

10. 保証規定

本製品は、厳重な検査に合格した後、皆様のお手元にお届けしております。取扱説明書、本体注意ラベルなどの注意書に従って正常なご使用をされたにも拘わらず保証期間内に万一、弊社の責任に基づく故障が起きました場合には、納入日より12か月を保証期間として、当該品を無償にて欠陥部品の手直し、修理、または新品と交換させていただきます。

ただし、二次的に発生する損失の補償及び次の場合に該当する故障についての保証は対象外とさせていただきます。

- 1.保証期間：製品を納入申し上げた日より起算して12か月間といたします。
- 2.保証内容：保証期間中に、本製品を構成する純正部品の材料、もしくは製造上の欠陥が表われ、弊社がこれを認めた場合、修復費用は全額負担いたします。
- 3.適用除外：保証期間中であっても、下記の場合には適用いたしません。
 - (1) 純正部品以外の部品を使用された場合に発生した故障。
 - (2) 使用・取扱上の過失による故障、保管・保安上の手入れ不十分が原因による故障。
 - (3) 製品の構成部品を腐食・膨潤、または溶解するような液体を使用されて生じた故障。
 - (4) 弊社、または弊社の販売店・指定サービス店以外の手によって分解修理がなされた場合。
 - (5) 製品に弊社以外の手によって改造・変更が加えられ、これが原因で発生した故障。
 - (6) パッキン、Oリング、ホースなどの消耗部品の摩耗。
 - (7) 指定外の電源(電圧)で使用された事により発生した故障及び損傷。
 - (8) お買上後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷。
 - (9) 火災、地震、水害、及びその他天災、地変などの不可抗力による故障及び損傷。
 - (10) 過度に摩耗性を有する材料や、本製品に不適當な油脂を使用された場合の故障。
 - (11) 日本国外においてご使用の場合。尚、本製品及びその付属品に使用されているゴム部品など、あらゆる自然損耗する部品、消耗部品ならびに下記部品については、保証の適用から除外させていただきます。
 - ・ホース類
 - ・各種パッキン類
 - ・コード類
- 4.補修部品：補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後5年とさせていただきます。製造打ち切り後5年を経過したものにつきましては、供給いたしかねる場合もございますので、何卒ご了承ください。

株式会社ヤマダコーポレーション

本社・営業本部 〒143-8504 東京都大田区南馬込1丁目1番3号

ホームページ <https://www.yamadacorp.co.jp>

E-mail sales@yamadacorp.co.jp



札幌営業所 東京営業所 大阪営業所 福岡営業所

仙台営業所 名古屋営業所 広島営業所 相模原工場

製品お問合せはこちらへ ☎0120-518-055

202102.2529 EXT017U